

活動の
その先編！

地域支えあい通信



この情報紙では、大和町内で活動している集まりや身近な活動から生まれている「**支えあい活動**」を掲載しています。

「支えあい活動」は、いつでも・どこでも・誰とでも。今回は、地区に伝わる伝統の技と、そこから広がる“支えあい活動”の芽を発見しました！

新小路活き生きサロン・柴ほうき作り

新小路地区では、さまざまな活動に取り組んでいるそうです。今回は、昔から使われてきた“柴ほうき”を作ると聞いて、取材に駆け付けました。そこでは、当たり前のように“伝統の技”が披露されていました。



「昔は、各家庭で作っていたんだよ。
山から柴を取って来て、1年くらい乾かしてさ。
だから、この辺の人は、みんな作れるのさ。」



使う針金の太さも、巻き方も、
使う道具も、人それぞれ！
各家庭の味ですな



使い方のプロ！

「ここ、ギチッと
してける」



「はい、できたよ」



磨き上げた技術！



今回の柴ほうきは、玄関先の雪を払ったり、小石をよけて
落ち葉を掃いたり、各家庭で大活躍！使い込むうちに手になじみ、
穂先もちょうどよい角度に削れていくそうです。

これからの地域づくりのポイント



日頃の交流は、支え合い活動の基盤⑥
～ 活動のその先 編 ～



表面に掲載した生き生きサロン“柴ほうき作り”、地域に根付いた生活必需品を協力して自作する、という**素敵**な活動でしたね。

なんと！ “活動のその先” に輝く芽が隠されています！

例えば…

- ① 「買えば済む」と、やらなくなってしまうのは、その**技術**はそこで途絶えてしまいます。やるからこそ、続いていく**伝統の技**！
- ② 作る過程で**力を貸し・貸される関係性**は、地域で育んできた「**支えあい活動**」そのものです。
- ③ ほうきを使って外掃除に出れば、ご近所さんとの**井戸端会議**（交流・情報交換）のきっかけ・**閉じこもり防止**にもなります。
- ④ 体を使ったお掃除は全身運動。**筋トレ**や**ストレッチ**の効果も！



柴ほうき？
あら！懐かしいこと！



おしゃべりも大事な**社会参加**

暮らしの中で行われることの大半には、じつは隠れた意味がたくさんあります。何気なく行っていた活動が、じつは、“健康で長生き”の秘訣（運動・栄養・社会とのつながり）になっていました！

生活支援コーディネーター「くまがい」より

大和町のいいところ探しを始めて約1年となりました。コロナで休止していた活動も、今年は再開していきますね。日頃の活動エピソードや「うちの地区のこんなところが好き」など、みなさんのお声を大募集中です。

また、「今度、こんなことやるよ」「活動を再開するよ」など地区活動のPRがありましたら、ぜひお声がけください！お待ちしております！



生活支援コーディネーター
熊谷 明子

社会福祉法人 大和町社会福祉協議会

住所：大和町吉岡字館下 88 保健福祉総合センター（ひだまりの丘）内

TEL:022-345-2156 / FAX : 022-345-7280